

第1問 (20点)

次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中からもっとも適切と思われるものを選ぶこと。

現金	普通預金	当座預金	受取手形	売掛金
前払金	未収入金	仮払法人税等	仮払消費税	仮払金
従業員立替金	貸付金	支払手形	買掛金	前受金
未払法人税等	未払金	仮受消費税	仮受金	借入金
資本金	繰越利益剰余金	売上	受取手数料	償却債権取立益
仕入	保険料	租税公課	支払利息	法人税、住民税及び事業税

- 商品（本体価格¥400,000）を売り上げ、代金は8%の消費税とともに掛けとした。なお、消費税については税抜方式で記帳する。
- 法人税等の中間申告を行い、法人税¥500,000、住民税¥150,000、事業税¥250,000を現金で納付した。
- 出張中の従業員から当座預金口座に¥100,000の入金があった。このうち¥40,000については、得意先から注文を受けたさいに受け取った手付金であるが、残額については、詳細は不明である。
- 得意先千葉商事から、前期に貸倒れとして処理した売掛金¥420,000のうち¥140,000が回収され、当座預金口座に振り込まれたが、誤って貸方を売掛金と処理していたことが判明したので、本日これを訂正する。訂正にあたっては、取引記録のすべてを訂正する方法ではなく、記録の誤りのみを部分的に修正する方法によること。
- 従業員5名が負担すべき生命保険料¥50,000を小切手を振り出して支払った。なお、この生命保険料は当月末において従業員の給料（総額¥1,250,000）から差し引くことにした。